



TITLE:

故高田保馬名誉教授献辞

AUTHOR(S):

経済学会

CITATION:

経済学会. 故高田保馬名誉教授献辞. 経済論叢 1972, 109(4-6)

ISSUE DATE:

1972-04

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/133477>

RIGHT:

經濟論叢

第109卷 第4・5・6号

哀 辞

故 高田保馬名誉教授遺影および略歴

經濟發展における軍需生産の役割について……	木 原 正 雄	1
社会資本と資本蓄積……	池 上 惇	25
ドイツ国民經濟會議における自由貿易……	藤 本 建 夫	42
コンビナートの企業構造……	下 谷 政 弘	59
世界市場と世界經濟……	関 下 稔	83

書 評

S. コトグローブ, J. ダンハム, C. ヴァンプルー著

「生産性交渉と職務拡大のケース・スタディ」

1971年……	赤 岡 功	106
---------	-------	-----

昭和47年4・5・6月

京都大學經濟學會

哀 辞

本学名誉教授高田保馬先生は 去る昭和47年2月2日京都の御自宅において逝去なさいました ここに謹んで哀悼の意を表するものであります

先生は 明治43年京都帝国大学文科大学社会科学部を御卒業になり 大正3年8月より経済学部的前身である本学法科大学の講師に御就任 ついで広島高等師範学校 東京商科大学九州帝国大学の各教授を歴任のち 昭和4年より昭和19年に至るまで本学経済学部教授として教育と研究指導に尽力され また昭和13年には経済学部長として大学行政の面でも多くの貢献をされました

先生の御業績は 社会学 経済学の双方における新生面の開拓者として 著書100冊を超え 論文500篇に余る多くの著作に示され わが国の学界に巨大な足跡をのこされました

当経済学部内では 講義研究を通じて多数の子弟を教育され また学界の指導的立場にあって学問の発展に多大の貢献をされました ことに 京都大学経済学会の機関紙たる本誌に御在職中ほとんど毎号のように 貴重な論文を発表され わが学会のために絶大なる御尽力を頂きました

先生いまやなし 在天の先生の御霊に対して ころから御冥福をお祈り申し上げます

昭和47年5月10日

京都大学経済学会



故 高田保馬 名誉教授 遺影

高田保馬先生御略歴

明治16年12月27日	佐賀県小城郡三日月村に生る
明治43年7月13日	京都帝国大学文科大学社会科学卒業
大正3年8月31日	本学法科大学講師
大正10年12月20日	文学博士
昭和4年2月28日	京都帝国大学教授
昭和13年2月10日	京都帝国大学経済学部長
昭和19年3月8日	京都帝国大学定年退官
昭和21年3月19日	京都帝国大学名誉教授
昭和30年11月16日	大阪大学名誉教授
昭和36年4月16日	大阪府立大学名誉教授
昭和39年11月3日	文化功勞者に顕彰さる
昭和47年2月2日	御逝去
昭和47年2月2日	正三位に叙せられ勲一等瑞宝章を授けらる